



(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和6年12月25日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4671300236
法人名	社会福祉法人 百合砂
事業所名	グループホーム 百合砂
所在地	鹿児島県西之表市西之表6095番地 (電話) 0997-22-1330
自己評価作成日	令和6年10月22日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和6年12月13日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホーム百合砂は、《①お一人おひとりそのひとらしく ②自分の事は自分で ③地域に開かれ地域と共に生きるホーム ④元気で目指せ100歳》を理念としながら西之表市の自然豊かな環境の中で可能な限り、自立を目指して支援してまいります。

あたたかくゆったりとした雰囲気の中で入居者が喜びや楽しみの時間を持てるとともに、個々の思いや意思を尊重しその思いに寄り添った支援、関係作りに努めていきます。

地域への行事参加等については、感染症の流行に左右される昨今ではありますが、気分転換にドライブや近隣の花々の鑑賞等に出かけたり、お墓参りへのご希望が叶えられる事ができるよう努めています。

また、同法人内の診療所や訪問看護との連携により、急な体調不良等へも迅速に対応が出来るように医療連携体制を整えております。

・管理者・職員は、利用者がその人らしく暮らせるように、理念を共有し日々のケアに取り組んでいる。

・コロナ感染状況を見ながら園児の慰問・高校の実習生やボランティア受け入れを行っている。散歩時の挨拶や野菜の差し入れ等もあり地域の方々とも日常的に交流している。

・毎月ホーム便りを発行して家族に届けている。家族からは面会時や電話で意見や要望を聞くようにしていて、職員と話し合いを行いながら要望の実現に取り組んでいる。

・職員は、管理者と何でも話せ相談しやすい関係が出来ており、働きやすい職場環境になっている。資格取得応援体制もある。

・重度化・終末期・看取りについても早い段階から家族と話をしている。職員・訪問看護師・主治医と話し合いを行い、家族の協力をもらいながら看取りも行っている。

・コロナ感染の為に面会等も制限があったが家族との外出やドライブ・墓参り・花の鑑賞等になるべく戸外に出かけられる支援を行っている。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	管理者と職員の双方で理念を共有しています。壁に理念を掲示し理念に基づいた支援が出来る様に努めています。	理念は、パンフレットに掲載しホールの壁の数ヶ所・トイレにも掲示している。いつでも目につくところに掲示し理念に基づいたケアが出来るように日々取り組んでいる。職員会議の中でも話をしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域行事については昨今の感染症の状況でなかなか参加はできませんが、普段の外出時には積極的に声掛けし、交流を図っています。避難訓練等は地域の方々にも参加して頂いています。	園児の訪問・高校の実習生の受け入れや以前働いていた職員が踊りに来たり、ボランティア受け入れも行っている。散歩時の挨拶や野菜の差し入れ等もあり日常的に地域との交流を行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	実習生や見学者の受け入れを行なっています。またその他のご家族の認知症介護でお困りの方への相談やアドバイスを行なっています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一度の運営推進会議を開催しており、活動報告や事故報告等を行ない、委員からのご意見を伺いながらサービス向上に努めています。	会議では、利用者の状態や事業所の運営状況、評価の取り組み状況を報告している。野菜の収穫や花の鑑賞等の案内、面会の件等の意見を聞きながらサービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市の担当職員に運営推進会議へ参加をして頂き、意見やアドバイスを頂きながら協力関係を築いています。	市担当者に運営推進会議に参加してもらい、相談したり電話でアドバイスをもらったりしている。研修会に参加して協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	法人全体による「身体拘束防止委員会」において、事例を持ち寄りミーティング等で話し合い意見交換を行っています。日常のケアにおいても疑問が生じた時には都度話し合える環境作りを行なっています。	事業所での年1回、法人の身体拘束防止委員会に参加している。事例を事業所に持ち帰って検討し職員間で情報を共有してケアの実践に繋げている。外に出たい利用者には職員が付き添って出かけている。施錠は夜間のみ行っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人全体による研修会や勉強会を開いており、事業所内での虐待が見過ごされる事のないように話し合いの出来る環境作りを行なっています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	法人内での研修会や勉強会において、学ぶ機会を設けており、個々の様々な権利を擁護出来るよう支援をしています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時に詳しく説明するようにしています。また、改定時の都度説明し同意を得るようにしています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	毎月活動報告を送付しており、面会やお電話の際に、何でも話せる環境作りに努めています。直接言いにくい事は玄関の窓口に意見箱を設けて対応に努めています。	家族からの意見・要望は、面会時やホーム便りを発行し家族に届けて、電話の折に話を聞いている。携帯電話の解約のお願いや食べ物の要望があり、職員と話し合いをしながら取り組んでいる。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員が意見や提案を言いやすい環境作りに努めており、意見が出た場合はミーティング等で意見が言えるように努めています。	職員の意見は職員会議等でホールの季節の飾りつけや独自のカレンダー作成、入浴時のストレッチャー購入の要望等があり、代表者・管理者・全職員で話し合いをしながら運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	管理者が日々のコミュニケーションで把握している職員の想いや悩みなどを定期的に代表者と協議することで、意向の実現・問題解決に努めています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内での勉強会や、包括支援センター・老施協などが行う研修の案内を出し参加してもらっています。感染症の流行する昨今ではオンライン研修が主流となっています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人外の行う研修に参加出来る機会を設けており、同業者との交流を図り、サービス向上につながる取り組みをしています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前の情報提供書を元に必要なニーズの把握に努めています。入所初期の不安や心配事に対して十分時間を掛けて傾聴し、安心確保が出来る関係づくりに努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居の初期段階にご家族との話し合いの時間を設け、困りごと・不安な事・ご要望についてお聞きしています。また、入居後についても、面会時や電話等により日常の様子をお伝えする事で信頼関係の構築に努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居時に本人・ご家族との面談に時間をかけ、アセスメント・評価により必要とされている支援を見極められるよう努めています。他のサービス利用についての対応も出来るようにしています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ホームでの生活活動への参加を促し、共に生活する家族として同じ目線に立ち、相互の同等の関係作りに努めています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時やお電話等でご家族の意向を伺い、共に支え合う立場である事をご理解頂き共に本人様を支えていく関係作りに努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	昨今の感染症の状況にもよりますが、入居前の関係継続の支援が出来る様に、ドライブ等では馴染みの場所を尋ねたり知人と会えるように考慮しています。	感染症の状況を見ながら、面会を実施し、家族との外出もしている。墓参りは職員と一緒に同行しドライブで馴染みの場所に出かけている。カットは訪問美容師に来てもらっている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士の関係を考慮し、テーブルメイトの調整をしたり、関係性が難しい場面ではスタッフが間に入り、一人ひとりの個性を尊重出来る様に努めています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後でも、ご家族等にお会いした際には声掛けを行い、状況を聞いたり困っている事は無いかな尋ねたりしています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	アセスメントや評価を行い、思いや暮らし方の希望の把握に努めています。把握が困難な場合はご家族との会話からヒントを見つけ出しご本人の気持ちに添った支援が出来る様に努めています。	散歩時や夜勤時に思いや意向を聞き、海を見たいとか野菜を栽培したいとか今頃は筍やツワブキの季節だとか話をしてくれる。困難な場合は家族や以前担当の職員から情報を得て思いに添うように支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時の面談時に伺ったご本人・ご家族からの情報と、担当ケアマネからの申し送り等により、これまでの暮らしの把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの状況について、支援経過にて把握し、日替わりで変わる個々の現状や体調に合わせた支援が出来る様に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人やご家族の意見を反映しつつ、関係機関からのアドバイスを聞いて、現状に即した介護計画作成が出来るように努めています。	モニタリングは毎月、見直しは6ヶ月で実施している。状態変化時は随時見直しを行っている。本人・家族・訪問看護師・理学療法士等からアドバイスや意見をもらいながら現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護ソフトを活用し個々の記録を記入し、スタッフ全員が同一の情報を共有出来る様にし評価や計画の見直しにつなげるようにしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人様の変化に合わせて、その時々状況に合ったケアを柔軟に実践出来る様に取り組んでいます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域での感染症の流行の状況にもよりますが、地域の方々の訪問等の支援を受けて楽しく豊かに過ごせるように支援しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	法人内の診療所が協力医療機関としてかかりつけ医になっています。月1回の往診と月1回のオンライン診療を受けています。また毎週1回の訪問看護の訪問を受け、適切な医療を受けられるよう連携が取れています。	本人の希望する協力医療機関がかかりつけ医になっている。月2回往診をしてもらっている。週1回の訪問看護や訪問歯科の受け入れも行っている。医療機関受診時は家族が付き添うが職員も同席するようにしている。適切な医療を受けられるように支援している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回の訪問看護の訪問を受け、24時間体制で相談が出来る環境にあります。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際には、スタッフによる面会や必要な物品を届けたりして安心して治療出来るように配慮しています。早期退院に向けてソーシャルワーカーと連携し病院との情報交換を行う事が出来ています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時にご家族の意向を伺っており、主治医・訪問看護・スタッフで方針の共有に努めています。ケアプラン更新時等にご意向の再確認を行っています。看取りについても指針や同意書を作成しています。	重度化や終末期・看取りについて利用開始時に話をしている。本人の状態の変化に応じて、家族・主治医・訪問看護師と職員で方針を共有し同意書も作成して家族の協力のもと看取りを行っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	法人内において自己発生時に備えて緊急事態への対応の勉強会を実施し、マニュアルを備えて速やかに対応出来る様にしています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回の避難訓練を実施し（昼間・夜間を想定）火災・地震・津浪など様々な災害を想定した訓練を行っています。	年2回避難訓練を行い、1回は消防署の協力で1回は自主訓練で火災と津波想定でしている。時々不意打ちで避難訓練し、素早い行動をとっている。隣のユニットとの連携、地域の代表者への協力体制の声掛けも行っている。備蓄は3日分、水・米・レトルト食等を準備していて、月1回非常食の日を設けて消費している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々の人格を尊重し、これまでの生活の中で培ってきた誇り・プライドを損なわないような言葉掛けに努めています。また、プライバシーを保てるよう個室対応しています。	名前は下の名前ですん付けで呼んでいる。入浴・トイレ誘導への声かけに配慮している。法人全体での研修会に参加し、プライドを損ねない言葉かけや対応に努めている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で度々本人の意向を尋ね、希望の表出は自己決定が出来る様に支援しています。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりが主である事を大事にしており、入浴や食事においても施設の都合ではなくその人のペースで生活出来る様に支援しています。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	毎日の服装については、ご自分で選んで頂いたり、一緒に選んだりしています。髪染め支援したり、お化粧を楽しまれている方もおられます。			
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事を楽しむ事が出来る様に、個々にあった食事の提供が出来る様に、好みや希望のメニューを聞いて一緒に準備から片づけまで楽しんで頂いています。	食事は法人の厨房で調理し、朝食はホームで作成している。野菜等の差し入れがあった時は利用者と一緒にごしらせや皮むきをしている。食事形態にも気を配り、食事が楽しめるように支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取量の把握に努め、一人ひとりの状態に応じた支援が出来る様にしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時・毎食後の口腔ケアへの声かけや介助を行っています。個々に応じて、歯間ブラシや舌ブラシ・スポンジを使用しています。必要な方へは仕上げ磨きを支援しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄のリズムを把握し、声掛けや誘導を行う事でスムーズに排泄が出来る様に支援しています。	布パンツ・リハビリパンツ・おむつの使用者がいる。個々の排泄リズムを把握しながらトイレ誘導や声掛けを行っている。夜間のみポータブルトイレを使用する場合もあり、トイレでの排泄、排泄の自立に向けた支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	一人ひとりの状態に合わせて、生活に運動を取り入れたり、多めの水分補給を促したり、芋類の繊維質の多い食品は乳製品の提供を行なったりしています。		

自己	外部	自己評価	外部評価
----	----	------	------

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週に2回の入浴が確保出来る様に予め予定を立ててはいるものの、健康状態や本人の意向を伺いながら本人のタイミングに合わせて入浴を楽しんで頂いています。	入浴は週2回、体調を見ながら声掛けを行っている。浴槽に浸ったり、隣のユニットで入浴したり・シャワー浴・ストレッチャー浴の場合がある。2人介助や個々に応じた入浴支援を行っている。嫌がる場合は無理強いせずに曜日や時間を変えて対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	それぞれの生活リズムに合わせて自由に休息出来る様にしています。居室で休まれたり、ホールで休まれたりされています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋に合わせて発行される薬情を薬箱の側に置き、いつでも確認出来る様にしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	本人の出来る得意な事を披露して頂くことで、楽しみや張り合いを持って生活出来る様に支援しています。それぞれに異なる楽しみに対応出来る様に努めています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	昨今の感染症の状況によりますが、体調や天候を考慮しながら散歩やドライブへ出掛ける事が出来ています。併設している施設へ訪問し、友人への面会も出来ています。	日常的には散歩やドライブに出かけている。感染状況を見ながらフリージアやコスモスの花を見物に行ったり、家族とも外出し、戸外へ出かけられるよう支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	殆ど、金銭の管理が出来ない為管理者で預かり、必要時に代行にて買い物をしています。金銭を所持出来る方については、希望に応じて少額を管理してつかいたい時に使えるようにしています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	本人さまの希望により基本的に常識の範囲内の時間帯においていつでも電話が掛けられるようにしています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の移り変わりに応じて、ホール内の飾り付け等を変えて変わる雰囲気、季節感を楽しんで頂いています。	明るく広いリビングには季節に応じたの飾り付けや花を生けたりしている。テレビの前のソファでのんびり過ごしている。換気をしながら室内の温度湿度にも配慮している。清潔保持のために掃除も行い、居心地よく過ごせる工夫がされている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファやテレビの配置を工夫したり、共有空間でもそれぞれの場所で思い思いにくつろげるように工夫しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に自宅で使用していた家具や使い慣れた道具を持ち込んで頂き、ご本人が心地よく過ごせるように工夫しています。	洗面台・エアコン・ベッドは事業所が提供しているが、寝具や筆筒、仏壇・位牌・写真等は自宅で使用していた物等を持参して、本人が居心地よく過ごせる工夫がされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりの身体状況に応じて、ベッドの高さを調節したり居室からトイレまでの動線に手摺を設置することで、出来るだけ自立した生活が送れるように工夫しています。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来てい		1 ほぼ毎日のように
	○	2 家族の2/3くらいと

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない